

## 大学生における「子の母親とのかかわり方」の認知の分析

筑波大学大学院（博）人間総合科学研究科 池田 幸恭・大竹 裕子

筑波大学心理学系 落合 良行

Cognition of relationship with own mother among university students

Yukitaka Ikeda, Yuko Otake and Yoshiyuki Ochiai (*Institute of Psychology, University of Tsukuba, Tsukuba 305-8572, Japan*)

The purpose of this study is to clarify the cognition of relationships with own mother in adolescence. Three-hundred-and-twenty-seven university students were asked to answer a questionnaire consisting of 163 items concerning relationship with own mother. All responses were subjected to a factor analysis, which yielded ten factors: f1- acceptance of mother; f2- only consult mother when in trouble; f3- trying to support mother; f4- conforming to mother's expectation; f5- resisting mother; f6- recognition of mother as individual; f7- seeking to surpass mother; f8- learning from respected mother; f9- desire to be with mother; and f10- relating to mother as friend. Consequently, 10 kinds of relationships with own mother were identified among university students.

**Key words:** psychological weaning, relationship with mother, relationship with parent, cognition, parent-child relations

### 問題と目的

青年期は心理的離乳の時期であるといえる。Hollingworth (1928) は、生理的な離乳と対比させて、家族からの自立の過程を心理的離乳とよんだ。西平 (1990) は、心理的離乳を第一次、第二次、第三次という段階に分けて論じている。第一次心理的離乳とは、思春期から青年中期において親からの離脱、依存性の払拭に重点が置かれ、第二次心理的離乳とは、青年中期から青年後期において自律性の獲得に重点が置かれるものである (西平, 1990)。そして、第三次心理的離乳とは、人間が本当の意味で自己実現を果たすために必要になる課題であるという (西平, 1990)。このような論究と共に、心理的離乳に関する実証的な研究もまた進めていく必要がある。心理的離乳について研究するための一つの切り口として、親子関係に焦点を当てることが考えられる。池田・大竹・落合 (2006) は、親子関係を検討するための観点を、「かかわり方の主体」と、そ

のかかわり方の「認知の主体」という2つの観点を組み合わせて整理している (Table 1)。「かかわり方の主体」には、「子の親とのかかわり方」と「親の子とのかかわり方」という2つの側面がある。「認知の主体」には、その2つのかかわり方を、「子がどのように認知しているか」と「親がどのように認知しているか」という2つの側面がある。そして、親子間の認知のズレについても問題になると論じている (池田他, 2006)。なお、池田他 (2006) では、「かかわり方の主体」の2側面として、「子の親に対するかかわり方」と「親の子に対するかかわり方」という表現を用いている。この「対する」という表現は、「かかわり方」の方向性が、子から親へ、あるいは親から子へのどちらにあるかが読み取りやすいという利点がある。けれども、実際のかかわり方には、「親と一緒に活動する」、「親と対立する」などのように、そのかかわり方を一方向的なものに限定することが難しいかかわり方も含まれている。そのため、より包括的な表現として、「子の親

とのかかわり方」と「親の子とのかかわり方」という表現に修正を加えた。以降、池田他(2006)の研究についても、この修正を行なった上で論じていく。

「親の子とのかかわり方」を「子がどのように認知しているか」という観点から、心理的離乳への過程について検討した研究として、落合・佐藤(1996)による研究が挙げられる。落合・佐藤(1996)は、6種類の親子関係を抽出し、落合(1995)によって提唱された仮説に類似した心理的離乳への5段階過程を見出している。すなわち、「1-親が子どもを抱え込む親子関係/親が子と手を切る親子関係」、「2-親が外界にある危険から子どもを守ろうとする親子関係」、「3-子どもである青年が困った時に、親が助けたり、励まして子どもを支える親子関係」、「4-子どもが親から信頼・承認されている親子関係」、「5-親が子どもを頼りにする親子関係」という5段階である。これに対して、池田他(2006)は、「子の親とのかかわり方」を「子がどのように認知しているか」という観点から、心理的離乳への過程に関する仮説を提起している。ここでは、子が認知する「子の親とのかかわり方」は、「子が親をたよりにするあり方」という観点から分析することが有効であり、この観点をもとに9種類に分けられるという仮説をとりあげる。この仮説は、青年から収集された、「子の親とのかかわり方」の認知に関する記述の整理と、先行研究をもとに提起されている。ここでの先行研究とは、主に「子の親とのかかわり方」を「子がどのように認知しているか」という観点から親子関係について検討したものであり、次のような研究が挙げられる。井上(1975)は、青年の親に対する客観的な評価は、「信頼・批判・理解」というように発達的に変化することを指摘している。小高(1998)は、「青年の親への態度・行動」として、「f1親からのポジティブな影響の因子」、「f2親との対立の因子」、「f3

親への服従の因子」、「f4親との情愛的絆の因子」、「f5 1人の人間として親を認知する因子」を抽出している。さらに、小高(1998)は、二次因子分析を行ない、「F I 親への親和志向の因子」、「F II 親からの客観的独立志向の因子」を抽出し、その高低の組み合わせによって、親子関係の4類型を提唱している。西平(1952, 1990)は、青年の親への感情について、「愛の次元」と「力の次元」を見出しており、それらの2つ次元を2軸として、青年の親への態度を4分類している。この西平(1952, 1990)の枠組みを用いて、若原(2003)は、親への態度と同一視との関連について検討している。また、柏木(1998)は、親が高齢化した段階では、子の無能・未熟ゆえに成立した親から子への養育=資源投資は、子から親へと、投資の方向が逆転することを指摘している。

本研究では、池田他(2006)によって提起された、子が認知する「子の親とのかかわり方」は9種類に分けられるという仮説に基づいて、子が認知する「子の親とのかかわり方」について検討していく。その検討にあたり、池田他(2006)によって提起された仮説に、次のような修正を加えた。第1に、先述したように、「子の親に対するかかわり方」を、より包括的な表現である「子の親とのかかわり方」に修正した。第2に、「子が親をたよりにするあり方」という観点による整理を、「子の親とのかかわり方」の整理として修正した。「子が親をたよりにするあり方」という観点は、心理的離乳への過程について理解する上での準拠として有効であるといえる。けれども、この観点はあくまで準拠としての観点であり、子が認知する「子の親とのかかわり方」とは同一次元ではないと考えられる。そのため、提起された仮説が、子が認知する「子の親とのかかわり方」の整理であることを明確化した。第3に、池田他(2006)はそれぞれの「子の親とのかかわり方」について「父親にかかわるあり方」と「母

Table 1 親子関係を検討するための観定の整理

かかわり方の主体 認知の主体	子の親とのかかわり方	認知のズレ	親の子とのかかわり方
子による認知	今回検討する観定	→ ← ギャップ	落合(1995)の心理的離乳への5段階過程仮説 落合・佐藤(1996)の心理的離乳への過程の分析
認知のズレ	↑↓ギャップ		↑↓ギャップ
親による認知		→ ← ギャップ	

親にかかわるあり方」という側面から整理していたが、この表現を「親子の力関係からみた親とのかかわり方」と「親子の愛情関係からみた親とのかかわり方」という表現に修正した。整理されたかかわり方が、父親と母親のどちらかに、必ずしも分けることはできないと考えられたからである。この「親子の力関係からみた親とのかかわり方」と「親子の愛情関係からみた親とのかかわり方」という表現は、西平（1952, 1990）が論じている、「愛の次元」と「力の次元」とを参考にしている。西平（1990）に

よれば、親子関係における「愛の次元」とは「自己との共鳴、一致、近しさなどの親近感-疎遠感」を表しており、「力の次元」とは「社会化された評価、崇拜、批判など高い-低い、尊敬-軽蔑」を表しているという。以上の修正を加えた、子が認知する「子の親とのかかわり方」について、Table 2にまとめた。本研究では、研究の出発点として、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」に焦点を当てて、研究を進めていく。

本研究の目的は、青年が自分の母親とのかかわり

Table 2 子が認知する「子の親とのかかわり方」の整理

親子の力関係からみた親とのかかわり方 (Strength)	子の親とのかかわり方	親子の愛情関係からみた親とのかかわり方 (Love)
9S-助ける 40) 親を助ける 41) 親と対等にたよりあう	9 子が親を <u>支える</u>	9L-養う 42) 親の相談に乗る
8S-尊重する 35) 親を尊敬している 36) 親を信頼している	8 子が親を <u>思いやる</u>	8L-いたわる 37) 親をいたわる 38) 親は大切な存在であると思う 39) 親に同情する
7S-認める 31) 親とは別個の人間である 32) 親の苦労を理解する	7 子が親を一人の人間として <u>理解する</u>	7L-受容する 33) 親を受容する 34) この親でよかったと思う
6S-越えようとする 28) 親を乗り越えたいと思う	6 子が親との関係の <u>変化を求める</u>	6L-向き合おうとする 29) 親との関係を続けていきたい 30) 親のことを理解したい
5S-蔑視する 24) 親を蔑視する 25) 親に似ていることが嫌だ	5 子が親を <u>見切る</u>	5L-否定する 26) 親を否定する 27) 親について考えることはない
4S-批判する 14) 親を批判する 15) 親と対立する 16) 親を信用していない 17) 親に生理的嫌悪を抱く 18) 力関係でのアンビバレントな気持ちを親に抱く	4 子が親から <u>離れようとする</u>	4L-距離を取る 19) 親との距離を取る 20) 親に秘密を持つ 21) 親が嫌い 22) 親に反発する 23) 愛情関係でのアンビバレントな気持ちを親に抱く
3S-助けてもらう 12) 困った時には親の助力を求める	3 困った時には子が親に <u>頼む</u>	3L-よりどころにする 13) 困った時には親に相談する
2S-習う 7) 親の期待に合わせて演じる 6) 親の期待に合わせて 4) 親から学ぶ 5) 親をモデルにする	2 理想的な親を子が <u>まねる</u>	2L-遊ぶ 8) 親と一緒に活動する 9) 親が好き 10) 親と会話する 11) 親に友だちのようにかかわる
1S-従う 1) 親に従う	1 全面的に子が自分を親に <u>委ねる</u>	1L-密着する 2) 親と一緒にいると安心する 3) 親にかくしごとをしない

注1：「43) 親を信用している」は、「36) 親を信頼している」と内容的に重複すると考えられたため、表に含めなかった。

注2：「44) 親に感謝している」は、「子の親とのかかわり方」の各段階に対応する内容がみられたため、表に含めなかった。

注3：「18) 力関係でのアンビバレントな気持ちを親に抱く」と「23) 愛情関係でのアンビバレントな気持ちを親に抱く」は、二義文になると判断し、今回の調査の質問項目には含めなかった。

方をどのように認知しているのかという、青年が認知する「子の母親とのかかわり方」について明らかにすることである。ここでは、池田他(2006)によって提起された仮説に修正を加えた、以下の9種類の「子の母親とのかかわり方」の認知に基づいて、青年が認知する「子の母親とのかかわり方」を検討していく。すなわち、「1-全面的に子が自分を母親に委ねるといのかかわり方」、「2-理想的な母親を子がまねるといのかかわり方」、「3-困った時には子が母親に頼むといのかかわり方」、「4-子が母親から離れようとするといのかかわり方」、「5-子が母親を見切るといのかかわり方」、「6-子が母親との関係の変化を求めるといのかかわり方」、「7-子が母親を一人の人間として理解するといのかかわり方」、「8-子が母親を思いやるといのかかわり方」、「9-子が母親を支えるといのかかわり方」の9種類のかかわり方である。

## 方 法

＜調査回答者＞ 回答を分析した調査回答者は、茨城県内の大学生327名(男性165名,女性162名,平均年齢20.09歳( $SD = 1.24$ ))であった。

＜調査時期＞ 2006年2月-3月に質問紙調査を実施した。

＜調査内容＞ 「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目。質問項目は、2005年7月に中学生、高校生、大学生、大学院生の計301名から収集された、「子の母親とのかかわり方」の認知に関する記述と、先行研究(井上, 1975; 柏木, 1998; 小高, 1998; 西平, 1990, 落合, 1995; 若原, 2003)をもとに作成した。質問項目の作成に際して、Table 2に整理された、9(子の母親とのかかわり方) × 2(親子の力関係からみた母親とのかかわり方-親子の愛情関係からみた母親とのかかわり方)の18カテゴリーをもとに項目を作成した。具体的には、各カテゴリーに含まれる内容が多い場合にはそれに応じて質問項目数を多く作成し、18カテゴリーごとに6~13項目の質問項目を作成した。そして、青年心理学を専門とする大学教員1名と心理学を専攻する大学院生7名によって、各項目の内容的妥当性の検討を行なった。以上の手続きを経て、最終的に「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目を選定した。各項目について、「普段、あなたの母親との関係で、以下の文章の内容が、どのくらいあてはまりますか。」という指示を行なった。各項目への回答は、「全くあてはまらない(1点)」「あまりあてはまらない(2点)」「どちらともいえ

ない(3点)」「ややあてはまる(4点)」「非常にあてはまる(5点)」の5件法で求め、( )内に示した得点を付与した。

＜分析手続き＞ 「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目への回答に対して、最尤法による因子分析を実施し、Promax解を求めた。さらに、抽出された因子に高い負荷量を示す項目が多くみられ、解釈が困難であると判断された場合には、因子解釈の参考にするために、その因子に単独で、40以上の負荷量を示した項目のみを用いて、再度因子分析を行なった。なお、分析に用いた統計パッケージは、SPSS10.0J for Windowsであった。

## 結果と考察

### 1. 大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」の抽出

「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目への回答について、因子分析を行なった。固有値1以上の因子を抽出し、できるだけ多くの解釈可能な因子を抽出した結果、10因子解が最適解とされた。この163項目について得られた因子パターンをTable 3に示す。このとき10因子によって説明可能な分散の総和の割合は、48.12%であった。各因子は、以下のように解釈された。なお、各項目への回答の平均得点と標準偏差については、平均得点が大い順にAppendixに整理した。

第1因子には、負の高い負荷量を示した項目と、正の高い負荷量を示した項目とが多くみられた。第1因子に負の高い負荷量を示した項目の多くは、「5S-蔑視する」、「5L-否定する」、「4S-批判する」の「14) 親を批判する」「16) 親を信用していない」、「4L-距離を取る」の「19) 親との距離を取る」「21) 親が嫌い」として作成された項目であった。一方、第1因子に正の高い負荷量を示した項目の多くは、「8S-尊重する」、「8L-いたわる」、「7L-受容する」の「34) この親でよかったと思う」として作成された項目であった。このように、第1因子には高い負荷量を示す項目が多くみられ、多様な内容が含まれているため、このままでの解釈は困難であると考えられた。したがって、第1因子については、次節で「2. 大学生が認知する『子の母親とのかかわり方』について抽出された第1因子の下位構造」として、その下位構造を明らかにした上で、因子の解釈を行なうことにする。

第2因子に高い負荷量を示した項目の多くは、「3L-よりどころにする」、「3S-助けてもらう」として作成された項目であった。この因子の代表項目と

して、「わたしは嫌なことがあった時には母親に話す (.95)」「わたしは困ったことがあると母親に相談する (.92)」「わたしは気分が落ちこんだ時には母親に話をする (.89)」などが挙げられる。さらに、「1L-密着する」の「3) 親にかくしごとをしない」と、「2L-遊ぶ」の「10) 親と会話する」として作成された項目も第2因子に高い負荷量を示していた。これらのことから、この因子は、仮説として提起された「3-困った時には子が母親に頼むというかかわり方」との対応がみられたが、特に母親に相談したり、悩みごとや嫌なことを母親に話したりするという内容が特徴的であった。したがって、この第2因子は、「困った時には母親に相談するというかかわり方」として解釈された。

第3因子に高い負荷量を示した項目のほとんどは、「9S-助ける」と「9L-養う」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親をなだめることがある (.73)」「わたしは母親の相談に乗る (.70)」「わたしは母親を励ますことがある (.70)」などが挙げられる。この因子は、仮説として提起された「9-子が母親を支えるというかかわり方」との対応がみられた。さらに、高い負荷量を示した項目の内容をみると、「子が母親を支える」というよりも、「子が母親を支えようとしている」という意志を示しているかかわり方として理解できると考えられた。そのため、この第3因子は、「母親を支えようとしているというかかわり方」として解釈された。

第4因子に高い負荷量を示した項目は、「1S-従う」と、「2S-習う」の「6) 親の期待に合わせる」「7) 親の期待に合わせて演じる」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親の考えに従おうとしている (.66)」「わたしは母親の機嫌をうかがうことが多い (.63)」「わたしは母親の言う通りに生きている (.61)」などが挙げられる。「1-全面的に自分が自分を母親に委ねるといのかかわり方」は主に乳幼児期にみられるかかわり方として、「2-理想的な母親を子がまねるといのかかわり方」は主に児童期にみられるかかわり方として想定されていた。けれども、この因子は、乳幼児期や児童期のように母親を理想化して、一方的に母親に自分を委ねたりするというかかわり方ではない。青年期の後期にある大学生では、母親の思いや気持ちをくみ取って、その上で母親の期待に合わせて母親に従おうとしていると理解できる。そのため、この第4因子は、「母親の期待に合わせて母親に従おうとするというかかわり方」として解釈された。

第5因子に高い負荷量を示した項目の多くは、「4S-批判する」の「15) 親と対立する」と、「4L-距離を取る」の「22) 親に反発する」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親に反抗的な態度を取ることがある (.85)」「わたしは母親に怒りをぶつけることがある (.81)」「わたしは母親とけんかをすることがある (.70)」であった。この因子は、仮説として提起された「4-子が母親から離れようとするというかかわり方」の中でも、母親と心理的に離れようとしながらも、母親にぶつかり反抗しているというかかわり方として理解できる。したがって、この第5因子は、「母親に反抗するというかかわり方」として解釈された。

第6因子に高い負荷量を示した項目のほとんどは、「7S-認める」の「31) 親とは別個の人間である」と、「7L-受容する」の「33) 親を受容する」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「母親は母親、わたしはわたしだと思う (.72)」「母親には母親の、わたしにはわたしの人生があると思う (.72)」「わたしの生き方は母親とは別の独自のものであると思う (.70)」などが挙げられる。この因子は、仮説として提起された「7-子が母親を一人の人間として理解するというかかわり方」との対応がみられた。したがって、第6因子は、「母親を一人の人間として理解するというかかわり方」として解釈された。

第7因子に、40以上の負荷量を示した項目は、全て「6S-越えようとする」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親よりも立派な人間になりたいと思う (.87)」「わたしは母親よりも人間として成長したいと思う (.74)」「わたしは母親よりも幸せになりたいと思う (.72)」などが挙げられる。この因子は、仮説として提起された「6-子が母親との関係の変化を求めるというかかわり方」における「6S-越えようとする」というかかわり方と対応していると考えられる。したがって、第7因子は、「母親を越えようとするというかかわり方」として解釈された。

第8因子に高い負荷量を示した項目の多くは、「8S-尊重する」と、「2S-習う」の「4) 親から学ぶ」「5) 親をモデルにする」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親を立派な人であると思う (.59)」「わたしの母親はえらいと思う (.53)」「わたしは母親が人間としてすばらしいと思う (.52)」などが挙げられる。Erikson (1959 小此木・小川・岩男訳 1973) は、児童期の子どもが両親に同一視することで、発

Table 3 「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目の Promax 回転後の因子パターン行列 (最尤法)

	f1	f2	f3	f4	f5	f6	f7	f8	f9	f10	h <sup>2</sup>
<b>f1 母親を受容しているというかわり方</b>											
145 5S-6	-87	00	10	08	01	07	04	-04	13	-03	67
159 5L-2	-84	01	15	-05	-07	14	04	13	27	01	43
138 8L-7	84	-08	-02	08	11	17	-02	-01	02	02	70
67 5L-1	-80	01	07	14	-04	16	00	10	09	06	48
100 4S-10	-80	13	-08	01	-07	09	06	-20	08	-03	66
59 4L-8	-79	08	08	-01	07	03	01	04	-07	-08	59
28 7L-5	76	00	-24	05	06	09	01	17	02	11	67
36 8L-1	76	-01	03	13	-07	12	01	-02	-09	08	62
161 4L-1	-75	-12	-06	16	11	10	-07	16	05	-02	61
139 4S-9	-74	03	-02	00	-02	02	01	-12	11	-03	55
146 5L-7	-74	00	-10	03	12	-03	-04	15	01	07	56
23 5L-6	-72	-05	01	-03	-10	02	03	14	03	03	46
140 5S-3	-72	-12	14	01	20	01	-02	-03	07	-06	65
127 8L-6	-70	-09	06	22	-03	08	07	-14	05	-01	53
83 5L-4	-68	06	-10	05	08	05	08	03	15	03	42
115 5S-5	-66	-09	-09	06	-05	27	07	-09	11	03	57
69 7L-6	62	00	-20	-05	01	20	06	24	15	03	65
96 5S-4	-61	00	07	04	13	14	11	-18	10	-04	55
154 8L-5	61	-04	26	22	13	03	00	-06	01	-02	63
68 7L-8	61	-02	-16	-05	-01	20	04	21	25	03	69
136 8L-2	60	-26	06	28	08	03	-02	-04	02	04	37
98 8L-4	60	-03	-01	09	11	25	04	03	-20	06	42
133 6L-2	59	08	07	06	05	11	-11	-14	06	-01	49
144 5S-7	-59	06	-05	01	-04	06	01	-35	05	14	57
17 5L-3	-57	01	24	13	08	01	07	-09	-02	-08	41
157 7S-8	57	-06	15	33	05	-02	03	-13	-11	-01	41
8 2L-4	56	15	-07	-10	04	13	-04	03	25	-01	60
35 5S-9	-55	-03	-06	04	15	12	-02	-02	10	-06	38
22 5L-5	-54	-01	09	09	13	06	-01	00	07	-03	30
12 3S-2	54	10	-23	06	15	15	-06	08	05	-11	41
40 7L-7	51	07	-08	05	11	14	01	21	-06	00	42
46 5S-1	-51	05	01	-01	04	20	16	-28	04	-11	53
63 7L-3	51	08	-02	-07	-02	13	-06	02	18	12	51
76 8S-6	51	17	-03	01	02	11	00	28	00	02	62
74 4L-4	-49	03	-13	16	39	14	-02	01	-02	05	56
97 8S-1	-48	-05	02	01	03	06	03	47	12	-02	72
149 8L-9	-48	-04	21	08	25	07	-01	-08	07	-03	39
109 5S-8	-48	07	-03	16	26	-05	01	-03	00	-03	40
53 8L-8	-47	-13	21	22	14	20	-05	06	03	15	35
2 9S-8	47	28	00	-08	00	00	04	09	-05	04	49
128 4L-12	47	07	-01	02	45	11	-02	-16	15	-02	55
160 2L-6	47	18	14	-09	-02	11	01	-03	14	16	62
7 4L-3	-46	-09	-09	21	15	07	00	08	-32	04	58
135 4S-4	-41	07	25	09	10	05	06	-19	08	-01	26
13 2L-9	41	35	09	-06	-05	12	-07	01	09	03	64
106 2L-5	40	21	08	06	-07	-05	01	00	03	30	56
1 4L-2	-36	-10	06	13	17	07	-01	07	-35	08	44
84 8S-7	34	-05	19	07	01	-08	-06	26	13	-06	43
134 7S-7	34	-05	08	07	08	28	00	32	-10	00	39
80 6L-8	33	20	15	07	-08	12	02	22	-04	-02	49
153 4S-7	-27	06	-02	-12	14	27	04	-09	00	-03	24
<b>f2 困った時には母親に相談するというかわり方</b>											
16 3L-3	-04	95	-10	02	03	-03	00	-03	-11	05	69
81 3L-1	-06	92	-07	04	-02	01	03	00	01	-03	75
72 3L-2	-04	89	-13	02	06	-07	-05	-10	06	04	69
77 3L-6	07	89	01	06	02	-06	-02	-03	-21	06	72
147 1L-8	-18	84	-10	11	01	-05	02	-04	10	06	61
87 9S-7	-08	75	25	-03	-01	04	03	10	-12	04	72
114 3S-8	03	73	-13	11	13	-02	03	04	12	-08	64
57 3S-1	02	73	05	14	02	10	01	12	-13	-11	62
58 1L-7	03	72	-09	08	-04	-11	06	-13	02	12	53
108 2L-7	01	60	03	11	-05	-02	-07	-13	06	25	47
76 4L-7	-32	-58	-07	16	03	14	03	03	15	02	59
82 3S-7	07	58	02	11	15	-14	06	13	02	-04	55
44 9S-9	07	56	31	00	-04	07	03	06	-29	01	53
30 3S-5	14	53	-01	14	08	09	02	15	-11	-16	46
3 3S-6	26	52	-24	03	16	02	08	07	05	-09	47
99 3L-8	02	52	04	15	13	05	-07	02	17	-12	51
91 6L-5	11	49	13	03	-12	08	00	-06	14	-01	53
158 1L-6	05	49	06	-01	-04	06	-03	-02	07	-04	33
89 2L-2	-16	46	09	-03	00	06	-07	-09	38	08	48
130 1L-1	22	43	-01	05	07	02	-07	-02	37	-05	70
42 1L-9	01	42	00	-03	-04	-28	01	-03	09	08	34
94 3L-5	23	42	05	16	10	-03	03	-07	00	-15	39
54 2L-8	18	41	16	02	02	11	-05	-04	00	16	48
31 3S-4	19	37	05	05	27	07	-03	09	-05	-04	33
20 1L-2	33	36	-12	-06	-06	22	-01	-11	34	-05	59
25 3S-3	-06	27	-22	01	24	08	00	-01	01	04	12
<b>f3 母親を変えようとしているというかわり方</b>											
113 9L-4	-15	-08	73	-10	01	10	-05	02	-01	03	44
73 9L-1	-10	09	70	01	-06	12	-04	01	-19	17	55
50 9L-8	00	10	70	-04	03	20	-12	07	-12	04	61
102 9L-2	-10	02	69	09	-14	11	-07	03	-02	08	53
18 9S-3	-02	-05	60	-15	13	12	05	03	-07	09	40
155 9L-3	-14	07	56	08	01	19	-09	01	-02	14	44
116 9S-1	01	11	53	09	-19	-08	-06	-03	-05	-06	35
156 9L-5	-13	-13	53	12	16	-27	04	-03	02	08	33
4 9S-6	01	-08	51	-05	00	-01	03	-08	21	03	34
55 9S-2	05	05	49	-08	-09	06	02	07	01	-05	30
39 9S-4	05	08	47	-08	17	-12	06	06	02	-06	31

56 9L-6	わたしは母親の世話をしている	-24	03	45	08	13	-25	04	-03	07	05	29
5 2S-3	わたしは母親に気をつけて扱っている	-32	-17	43	20	-07	08	-05	23	02	-16	26
34 9L-9	わたしは母親が安心して生活できるようにしている	11	-18	43	07	10	-08	14	11	10	-07	27
43 9S-5	わたしは母親が困っている時には助けようとする	37	07	40	08	-09	02	09	-09	04	-03	52
62 9L-7	わたしは母親を精神的に支えている	-06	20	38	00	08	04	01	08	08	03	25
143 6L-7	わたしは母親とお互いのことを理解できるように努力している	05	28	35	03	-05	00	08	-02	09	01	42
52 6L-6	わたしは母親のことを理解したいと思う	31	15	32	13	05	-04	10	10	-04	-03	50
137 8L-3	わたしは母親のことを心配している	-22	-27	31	22	08	13	-02	04	15	-03	33
142 4L-5	母親にはわたしの部屋に入ってほしくないと思う	17	-09	-26	25	06	18	09	00	-12	15	29
<b>14 母親の期待に合わせて母親に従おうとするというかかわり方</b>												
61 1S-1	わたしは母親の考えに従おうとしている	-13	15	-07	66	-14	-23	-10	14	-08	09	52
37 2S-1	わたしは母親の機嫌をうかがうことが多い	-31	16	10	63	-07	03	-10	-02	-04	00	44
124 1S-4	わたしは母親の言う通りに生きている	-25	04	-06	61	-07	-28	02	11	08	09	49
112 1S-5	わたしは母親の言うことには素直に従っている	-06	16	-01	58	-48	-10	05	04	-01	-01	53
105 2S-4	わたしは母親の期待にこたえようとしている	-25	-07	09	58	10	-20	04	04	00	02	45
38 2S-5	わたしは母親に失望されたくないと思う	34	03	-11	57	-01	-07	07	-02	02	-06	45
103 1S-2	わたしは母親から言われたことを守るようにしている	09	19	04	55	-35	00	-05	-05	04	-04	50
21 2S-2	わたしは母親にとってのいい子でいたいと思う	21	00	-08	55	-17	-05	06	01	09	02	41
24 1S-7	わたしは母親に逆らうことができない	-33	15	-03	52	-16	-01	-05	09	-07	02	31
90 2S-6	わたしは母親が望むような生き方をしたいと思う	16	-08	05	47	-07	-24	-02	19	05	04	40
125 1S-3	わたしは母親の注意を必ず聞くようにしている	-09	22	09	44	-31	-10	03	-01	10	-03	40
131 1S-6	わたしは母親の言うことを聞いていれは間違いなと思う	14	26	-10	41	-05	-29	05	21	17	-03	48
104 6L-3	わたしは母親のことを好きになろうと努力している	-26	09	15	27	05	-12	03	-08	15	-08	20
60 4S-11	母親にはわたしの持ち物に触ってほしくないと思う	-16	-01	-22	23	21	08	-01	-03	-09	17	22
<b>15 母親に反抗するというかかわり方</b>												
118 4L-13	わたしは母親に反抗的な態度を取ることがある	03	07	-02	-23	85	-15	-05	03	-06	04	61
6 4L-11	わたしは母親に怒りをぶつけることがある	18	10	-04	-24	81	-32	03	00	06	-02	53
111 4S-5	わたしは母親とけんかをするときがある	-02	16	25	-27	70	-16	-09	02	01	-02	52
14 4L-10	わたしは母親に反発したことがある	-24	05	-12	-01	66	-05	-03	06	06	00	48
27 4S-6	わたしは母親と意見が衝突することがある	-13	09	23	-30	66	-07	-06	14	-06	-05	48
75 5S-2	わたしは母親を馬鹿にしたような態度をとることがある	-12	-18	-06	01	61	-10	00	-06	14	18	43
11 4S-8	わたしは母親の言うことにいつも対立する	-34	00	-16	-04	49	-09	02	12	09	03	36
152 4S-3	わたしは母親の考えを否定することがある	-07	02	15	-13	40	18	05	-03	-14	03	36
162 7L-4	わたしは母親にこれ以上望むことはない	01	07	-21	-04	-35	28	-05	20	13	09	27
33 6L-1	わたしは母親に言いたいことを言うようにしている	27	33	01	-31	34	-10	15	-02	-11	06	38
64 4S-2	わたしは母親の欠点を直してほしいと思う	-15	01	18	10	30	-08	13	-10	-03	-09	26
49 4L-9	わたしは母親に意見を押しつけられるのは嫌である	03	12	-08	-04	25	16	04	-13	-21	-01	22
<b>16 母親を一人の人間として理解するというかかわり方</b>												
92 7S-1	母親は母親、わたしはわたしだと思う	-05	-04	01	-17	20	72	05	07	00	05	43
121 7S-2	母親には母親の、わたしにはわたしの人生があると思う	07	00	-02	-12	72	70	07	09	01	-04	47
163 7S-5	わたしの生き方は母親とは別の独自のものであると思う	-14	12	-01	-14	-12	70	-04	00	01	-03	39
41 7L-2	わたしは母親が完璧でないことは仕方がないことだと思う	09	-07	21	-11	-10	52	02	04	-14	-03	33
120 7L-1	どんな母親であっても、わたしの親にはかわりないと思う	15	-14	08	-06	-09	51	00	04	15	-04	30
19 7S-3	母親とわたしは異なる一人の人間であると思う	-02	02	09	-14	-05	49	-02	11	-21	00	27
86 7S-4	わたしは母親も一人の人間だと思っけて扱っている	-05	09	23	-23	15	46	10	20	-04	-06	30
101 2S-12	わたしは母親のような生き方がしたいと思う	22	-05	03	02	04	-35	10	35	15	05	42
45 2S-10	わたしは母親を目標としている	15	17	04	06	05	-35	05	35	16	01	55
119 1L-10	わたしは母親に秘密がないようにしたいと思う	-05	20	10	10	-06	-33	01	00	17	03	28
129 7S-9	わたしは母親に今までくさんの迷惑をかけたと思う	13	05	01	-04	13	32	04	30	-03	-07	28
70 4L-6	わたしは母親には話さないこともある	08	-20	02	15	-02	20	00	-02	-08	-01	11
<b>17 母親を越えようとするというかかわり方</b>												
51 6S-2	わたしは母親よりも立派な人間になりたいと思う	-07	-06	-05	-06	01	05	87	-01	-02	00	79
47 6S-3	わたしは母親よりも人間として成長したいと思う	-09	01	05	-05	-03	04	74	-14	06	-09	62
26 6S-6	わたしは母親よりも幸せになりたいと思う	-18	03	-12	-01	-11	13	72	14	-02	01	52
148 6S-4	わたしは母親よりもいい親になりたいと思う	-07	05	02	05	-08	-03	70	-06	-01	-08	49
85 6S-1	わたしは母親には負けたくないと思う	-07	01	03	-01	11	04	60	17	-09	15	44
65 6S-5	わたしは母親よりも社会の中で活躍したいと思う	09	03	-02	02	00	04	60	-04	-17	15	40
<b>18 尊敬できる母親を見習うというかかわり方</b>												
110 8S-4	わたしは母親を立派な人であると思う	41	-11	09	07	-01	05	01	59	00	-04	71
15 8S-3	わたしは母親はえらいと思う	24	-05	-01	06	-01	14	-05	53	03	-10	45
88 8S-2	わたしは母親が人間としてすばらしいと思う	41	-03	02	03	-02	04	04	52	07	06	69
79 2S-11	わたしは母親を見習いたいと思う	43	03	-01	06	00	-01	05	49	01	05	67
29 7S-6	わたしは母親が今まで苦労してきたのだと思う	01	00	17	12	05	25	01	44	-21	01	32
107 2S-9	わたしは母親のようになりたいと思う	19	-03	04	03	01	-25	01	42	23	10	53
151 8S-5	わたしは母親を自慢に思う	38	-02	08	05	-04	10	01	42	16	02	66
32 2S-8	わたしは母親からいろいろなことを学んでいる	23	23	04	05	06	24	05	41	-04	00	56
48 2S-7	わたしは母親からいろいろなことを教わっている	32	15	15	06	00	11	02	40	-07	-02	59
126 4S-1	わたしは母親にもっとしっかりしてほしいと思う	-26	02	10	04	12	06	14	-36	13	22	38
<b>19 母親と一緒にいようとするというかかわり方</b>												
9 1L-4	わたしは母親がそばにいないとさびしい	-07	16	-08	07	07	-12	-05	-04	71	-14	55
71 1L-3	わたしは母親にできるだけいっしょにいてほしいと思う	-07	-01	01	12	-01	-17	-05	04	66	06	53
10 1L-5	わたしはできるだけことならいつも母親といっしょにいたい	-17	09	-06	06	-05	-06	01	05	65	07	47
150 2L-3	わたしは母親といっしょに遊びに行くことが多い	-19	36	15	-18	02	06	01	-02	49	12	54
122 2L-1	わたしは母親といっしょに外出することが多い	-20	45	14	-14	-02	17	-02	-09	47	12	59
93 3L-4	わたしは母親がいるとがはばることができる	20	22	03	19	06	-02	-02	12	37	-05	61
141 3L-7	母親はわたしの心の支えである	28	27	02	08	11	03	-08	10	30	-06	60
95 6L-4	わたしは母親にもっと積極的にかかわろうとしている	18	19	23	-02	00	-18	08	-06	30	-01	45
132 8L-10	わたしは母親のことをかかいたいと思う	08	-08	19	-07	13	07	-08	09	29	22	28
<b>110 母親と友だちのように接するというかかわり方</b>												
117 2L-11	わたしは母親を友だちのような存在だと思っている	06	03	14	04	04	-05	02	-07	02	83	79
66 2L-10	わたしは母親と友だちのようなつながり方をしている	08	05	12	04	05	-07	02	-04	-04	82	76
123 2L-12	わたしは母親と友だちのように仲良くしている	14	13	13	00	00	-03	05	-05	-11	71	79
<b>因子間相関</b>												
f1	母親を受容している	f1	f2	f3	f4	f5	f6	f7	f8	f9	f10	
f2	困った時には母親に相談する	58										
f3	母親を支えようとしている	40	50									
f4	母親の期待に合わせて母親に従おうとする	10	14	28								
f5	母親に反抗する	-18	00	12	17							
f6	母親を一人の人間として理解する	14	-01	19	17	45						
f7	母親を越えようとする	-07	00	15	16	33	18					
f8	尊敬できる母親を見習う	44	43	14	13	-23	-12	-12				
f9	母親と一緒にいようとする	46	52	36	28	-10	-05	02	29			
f10	母親と友だちのように接する	09	24	23	-03	-08	-04	-02	13	29		

注1：項目番号につけられている数字とアルファベットは、Table 2の各カテゴリーに対応している。

注2：枠で囲まれた因子負荷量は、各因子に対して、.40以上の負荷を示したものである。

注3：小数点は省略して記載した。

達していくことを指摘している。この因子は、児童期のように理想的な母親をモデルにするというかわり方ではない。青年期の後期にある大学生は、理想的というよりも、尊敬できる母親の生き方やあり方を見習っていると理解できる。したがって、この第8因子は、「尊敬できる母親を見習うというかわり方」として解釈された。

第9因子に高い負荷量を示した項目は、「1L-密着する」の「2）親と一緒にいると安心する」と、「2L-遊ぶ」の「8）親と一緒に活動する」として作成された項目であった。この因子の代表項目として、「わたしは母親がそばにいないとさびしい(.71)」「わたしは母親にできるだけいっしょにいたいと思う(.66)」「わたしはできることならいつも母親といっしょにいたい(.65)」などが挙げられる。この因子は、母親と一緒にいたいと願い、実際に母親と一緒にいようとするというかわり方であると考えられる。したがって、第9因子は、「母親と一緒にいようとするというかわり方」として解釈された。

第10因子に、40以上の負荷量を示した項目は、「2L-遊ぶ」の「11）親に友だちのようにかかわる」として作成された3項目であった。この3項目は、「わたしは母親を友だちのような存在だと思っている(.83)」「わたしは母親と友だちのようにつきあい方をしている(.82)」「わたしは母親と友だちのように仲良しである(.71)」であった。前川(2002)は、「友だちのような」親子関係について、単なる表面的な「友だち」ではなく、いわゆる親友といわれる真の「友だち」とのような関係が重要であると論じている。この因子に示された「親と友だちのようにかかわる」という認知は、現代青年に特徴的な親子関係であるとも考えられる。これらのことから、第10因子は、「母親と友だちのように接するというかわり方」として解釈された。

## 2. 大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」について抽出された第1因子の下位構造

大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」について抽出された第1因子には、高い負荷量を示す項目が多くみられ、多様な内容が含まれているため、このままでの解釈は困難であると考えられた。そのため、第1因子の下位構造を明らかにし、それを参考にして、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」の第1因子の解釈を行なう。具体的には、抽出された第1因子に単独で、40以上の負荷量を示した44項目を用いて、再度、最尤法による因子

分析を実施し、Promax解を求めた。固有値1以上の因子を抽出し、できるだけ多くの解釈可能な因子を抽出した結果、4因子解が最適解とされた。この44項目について得られた因子パターンをTable 4に示す。このとき4因子によって説明可能な分散の総和の割合は、51.93%であった。各下位因子は、以下のように解釈された。なお、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」について抽出された、第1因子の下位因子であることを明確にするために、それぞれ「f1-1」「f1-2」「f1-3」「f1-4」として表記した。

f1-1に高い負荷量を示した項目の多くは、「5S-蔑視する」、「5L-否定する」、「4S-批判する」の「14）親を批判する」「16）親を信用していない」、「4L-距離を取る」の「19）親との距離を取る」「21）親が嫌い」として作成された項目であった。さらに、「8L-いたわる」の「39）親に同情する」として作成された項目も、f1-1に高い負荷量を示した。代表項目として、「わたしは母親のような生き方はしたくない(.71)」「わたしは母親がみじめに思えることがある(.71)」「わたしは母親に失望している(.71)」などが挙げられる。これらのことからf1-1は、母親を情けなく思ったり、みじめに思ったりするような、「母親を蔑視する」ことを中心にしたかわり方であると考えられた。したがって、f1-1は、「母親を蔑視するというかわり方」として解釈された。

f1-2に高い負荷量を示した項目のほとんどは、「8L-いたわる」の「37）親をいたわる」「38）親は大切な存在であると思う」として作成された項目であった。代表項目として、「わたしは母親に楽をさせてあげたいと思う(.84)」「わたしは母親に親孝行したいと思う(.80)」「わたしは母親の力になりたいと思う(.78)」などが挙げられる。このことから、f1-2は、「母親をいたわるというかわり方」として解釈された。

f1-3に高い負荷量を示した項目の多くは、「2L-遊ぶ」の「9）親が好き」として作成された項目であった。代表項目として、「わたしは母親と話をすることが好きだ(.85)」「わたしは母親と仲がよい(.80)」「わたしは母親と気が合う(.70)」などが挙げられる。このことから、f1-3は、「母親を好きであるというかわり方」として解釈された。

f1-4に高い負荷量を示した項目のほとんどは、「7L-受容する」の「34）この親でよかったと思う」として作成された項目であった。代表項目として、「わたしはこの母親の子どもでよかったと思う(.89)」「わたしはこのような母親がいて幸せだと思

Table 4 「子の母親とのかかわり方」の認知の第1因子への下位因子分析結果（最尤法，Promax 回転）

		f1	f2	f3	f4	h <sup>2</sup>	
<b>f1-1</b>	<b>母親を蔑視するというかかわり方</b>						
96	5S-4	わたしは母親のような生き方はしたくない	71	12	-06	-07	53
149	8L-9	わたしは母親がみじめに思えることがある	71	21	02	-04	37
145	5S-6	わたしは母親に失望している	71	-11	-03	-04	69
135	4S-4	わたしは母親が自分勝手であると思う	70	-04	37	-05	29
53	8L-8	わたしは母親がかawaiiそうであると思う	64	30	-04	-04	30
140	5S-3	わたしは母親の考え方に幻滅している	64	-02	-16	-04	66
74	4L-4	わたしは母親がうとうとしいと思う	63	14	-31	18	47
115	5S-5	わたしは母親には期待しても無駄だと思う	59	-12	-12	07	52
159	5L-2	わたしは母親を自分の親とは思わないことがある	59	-29	23	03	39
46	5S-1	わたしは母親のようになりたくない	58	17	-12	-15	45
67	5L-1	どうしてこの人がわたしの母親なのかと思う	55	-1	-01	-04	44
22	5L-5	わたしは母親に対して絶対に許せないと思っていることがある	54	07	-05	-02	30
144	5S-7	わたしの母親はたよりにならないと思う	53	-22	12	-15	52
17	5L-3	わたしは他の人が母親だったらよかったと思うことがある	52	19	05	-35	41
83	5L-4	わたしは母親がいなければいいと思うことがある	52	-16	01	-02	40
35	5S-9	わたしは母親に似ていると言われることが嫌だ	50	-09	-20	15	38
139	4S-9	わたしは母親を信用していない	49	-27	-04	-03	56
100	4S-10	わたしは母親を尊敬できない人間であると思う	48	-30	-03	-09	64
161	4L-1	わたしは母親を避けている	48	-05	-40	14	60
109	5S-8	わたしは母親に似ているところがあるのが嫌だ	45	00	-20	03	35
59	4L-8	わたしは母親のことが嫌いだ	37	-12	-30	-07	58
<b>f1-2</b>	<b>母親をいたわるというかかわり方</b>						
136	8L-2	わたしは母親に楽をさせてあげたいと思う	06	84	-23	03	47
127	8L-6	わたしは母親に親孝行したいと思う	08	80	06	-04	60
154	8L-5	わたしは母親の力になりたいと思う	24	78	23	-01	64
157	7S-8	わたしは母親に心配をかけたくないと思う	10	74	11	-19	42
138	8L-7	わたしにとって母親は大切な存在であると思う	-01	59	04	29	72
98	8L-4	わたしは母親に元気でいてほしいと思う	06	58	-10	20	39
133	6L-2	わたしは母親とずっとつきあっていこうと思う	08	48	34	02	50
36	8L-1	わたしは母親を大事にしていきたいと思う	-14	43	14	18	61
23	5L-6	わたしは母親なんてどうでもいいと思っている	17	-39	-17	-01	43
<b>f1-3</b>	<b>母親を好きであるというかかわり方</b>						
13	2L-9	わたしは母親と話をすることが好きだ	12	03	85	07	70
160	2L-6	わたしは母親と仲がよい	14	08	80	07	65
106	2L-5	わたしは母親と気が合う	02	00	70	01	49
7	4L-3	わたしは母親とできるだけいっしょにいたくない	32	09	-61	12	53
8	2L-4	わたしは母親が好きだ	06	02	61	26	60
2	9S-8	わたしは母親と信頼関係にあると思う	-10	-09	54	20	49
63	7L-3	わたしは母親の欠点も含めて母親が好きだ	-02	04	47	24	50
146	5L-7	わたしは母親を無視している	30	-26	-40	15	56
<b>f1-4</b>	<b>この母親でよかったと思うというかかわり方</b>						
69	7L-6	わたしはこの母親の子どもでよかったと思う	-01	-04	05	89	83
68	7L-8	わたしはこのような母親がいて幸せだと思う	02	-01	21	75	78
28	7L-5	母親がわたしの親でよかったと思う	-18	04	03	68	75
12	3S-2	わたしは母親がいて助かっていると思う	-02	25	-05	44	38
40	7L-7	母親がいるからこそ今のわたしがあると思う	-06	22	01	41	40
78	8S-6	わたしは母親を信頼している	-12	10	31	34	57
	因子間相関	f1	f2	f3	f4		
		母親を蔑視する	f1	f2	f3	f4	
		母親をいたわる	-63				
		母親を好きである	-72	69			
		この母親でよかったと思う	-66	66	65		

注1：項目番号につけられている数字とアルファベットは、Table 2 の各カテゴリーに対応している。

注2：枠で囲まれた因子負荷量は、各因子に対して、.40以上の負荷を示したものである。

注3：小数点は省略して記載した。

う (.75)」「母親がわたしの親でよかったと思う (.68)」などが挙げられる。このことから、f1-4は、「この母親でよかったと思うというかかわり方」として解釈された。

以上のように、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」の第1因子の下位因子として、「f1-1 母親を蔑視するというかかわり方」、「f1-2 母親をいたわるというかかわり方」、「f1-3 母親を好きであるというかかわり方」、「f1-4 この母親でよかったと思うというかかわり方」の4因子が抽出された。大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」の第1因子について、「f1-1 母親を蔑視するというかかわり方」は負の負荷量を示し、「f1-2 母親をいたわるというかかわり方」、「f1-3 母親を好きであるというかかわり方」、「f1-4 この母親でよかったと思うというかかわり方」は正の負荷量を示しているといえる。このことから、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」について抽出された第1因子は、負の高い負荷量を示すほど、母親を蔑視するような「母親を拒否しているというかかわり方」を、正に高い負荷量を示すほど、母親をいたわり、好きであり、この母親でよかったと思うような「母親を受けいれているというかかわり方」を表していると考えられる。したがって、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」の第1因子は、「母親を受容しているというかかわり方」として解釈された。

### 3. 本研究のまとめ

本研究の結果、大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」には、10種類のかかわり方があることが明らかにされた。すなわち、「f1-母親を受容しているというかかわり方」、「f2-困った時には母親に相談するというかかわり方」、「f3-母親を支えようとしているというかかわり方」、「f4-母親の期待に合わせて母親に従おうとするというかかわり方」、「f5-母親に反抗するというかかわり方」、「f6-母親を一人の人間として理解するというかかわり方」、「f7-母親を越えようとするというかかわり方」、「f8-尊敬できる母親を見習うというかかわり方」、「f9-母親と一緒にいようとするというかかわり方」、「f10-母親と友だちのように接するというかかわり方」である。

本研究では、仮説として提起された、子が認知する9種類の「子の母親とのかかわり方」に類似した、10種類の「子の母親とのかかわり方」の認知が見出された。また、今回抽出された「子の母親とのかかわり方」の認知には、青年期の後期にある大学

生の特徴が表れているとも考えられた。例えば、「f4-母親の期待に合わせて母親に従おうとするというかかわり方」は、乳幼児期のように母親を理想化して一方的に母親に従うのではなく、母親の思いや気持ちを考えた上で、母親の期待に合わせて母親に従おうとするというものであった。「f8-尊敬できる母親を見習うというかかわり方」も、児童期のように理想的な母親をモデルにするというよりも、尊敬できる母親の生き方やあり方を見習うというかかわり方として考えられる。「f1-母親を受容しているというかかわり方」については、「f1-1 母親を蔑視するというかかわり方」、「f1-2 母親をいたわるというかかわり方」、「f1-3 母親を好きであるというかかわり方」、「f1-4 この母親でよかったと思うというかかわり方」という下位因子が抽出された。小此木 (1991) は、親離れとは「理想化していた親イメージについて、幻滅 (脱錯覚) が生じて、親をありのままに見ることができるようになる体験である」と論じている。このような親イメージの幻滅に対応すると考えられる、「f1-1 母親を蔑視するというかかわり方」は、青年期の前期にある中学生や青年期中期にある高校生では、一つの特徴的なかかわり方として抽出されるということも考えられる。さらに、「f10-母親と友だちのように接するというかかわり方」のように、現代青年に特徴的であると考えられる、「子の母親とのかかわり方」の認知の存在が示唆された。

今後は、青年期全体を視野に入れて「子の母親とのかかわり方」の認知について検討し、さらに子が認知する「子の母親とのかかわり方」と「子の父親とのかかわり方」を統合して、心理的離乳への過程を解明するための研究を展開していくことが課題である。

### 要 約

本研究の目的は、青年が自分の母親とのかかわり方をどのように認知しているのかという、青年が認知する「子の母親とのかかわり方」について明らかにすることである。327名の大学生に質問紙調査を実施した。質問紙は、「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目から構成されていた。「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目への回答について、因子分析を実施した。その結果、以下の10因子が抽出された。すなわち、「f1-母親を受容しているというかかわり方」、「f2-困った時には母親に相談するというかかわり方」、「f3-母親を支えようとしているというかかわり方」、「f4-母親の

期待に合わせて母親に従おうとするというかかわり方], 「f5-母親に反抗するというかかわり方], 「f6-母親を一人の人間として理解するというかかわり方], 「f7-母親を越えようとするというかかわり方], 「f8-尊敬できる母親を見習うというかかわり方], 「f9-母親と一緒にいようとするというかかわり方], 「f10-母親と友だちのように接するというかかわり方」である。以上より, 大学生が認知する「子の母親とのかかわり方」には, 10種類のかかわり方があることが明らかにされた。

### 引用文献

- Erikson, E.H. (1959). *Identity and the life cycle*. Selected papers. In *psychological issues*. Vol.1. New York: International Universities Press.  
(エリクソン, E.H. 小此木啓吾・小川捷之・岩男寿美子 (訳) (1973). 自我同一性 アイデンティティとライフサイクル 誠信書房)
- Hollingsworth, L.S. (1928). *The psychology of the adolescent*. New York: Appleton.
- 池田幸恭・大竹裕子・落合良行 (2006). 「子の親に対するかかわり方」からみた心理的離乳への過程仮説 筑波大学心理学研究, 31, 45-57.
- 井上健治 (1975). 独立への欲求とおとなに対する抵抗 井上健治・柏木恵子・古沢頼雄 (編) 青年心理学 - 現代に生きる青年像 有斐閣, Pp.235-250.
- 柏木恵子 (1998). 社会変動と家族発達 子どもの価値・親の価値 柏木恵子 (編) 結婚・家族の心理学 - 家族の発達・個人の発達 - ミネルヴァ書房, Pp.5-50.
- 小高 恵 (1998). 青年期後期における青年の親への態度・行動についての因子分析的研究 教育心理学研究, 46, 333-342.
- 前川あさ美 (2002). 友だちのような親子関係 児童心理, 56(16), 30-34.
- 西平直喜 (1952). 青年 - 両親関係の心理学的研究 野間教育研究所紀要 第7集.
- 西平直喜 (1990). 成人になること - 生育史心理学から 東京大学出版会.
- 落合良行 (1995). 心理的離乳への5段階過程仮説 筑波大学心理学研究, 17, 51-59.
- 落合良行・佐藤有耕 (1996). 親子関係の変化からみた心理的離乳への過程の分析 教育心理学研究, 44, 11-22.
- 小此木啓吾 (1991). 親イメージの幻滅と回復 青年心理, 87, 136-145.
- 若原まどか (2003). 青年が認識する親への愛情や尊敬と, 同一視および充実感との関連 発達心理学研究, 14, 39-50.

(受稿3月22日: 受理5月18日)

Appendix 「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる163項目の平均得点 (SD)

			平均得点	(SD)
98	8L-4	わたしは母親に元気でいてほしいと思う	4.79	(0.48)
138	8L-7	わたしにとって母親は大切な存在であると思う	4.59	(0.69)
12	3S-2	わたしは母親がいて助かっていると思う	4.56	(0.66)
127	8L-6	わたしは母親に親孝行したいと思う	4.52	(0.66)
121	7S-2	母親には母親の、わたしにはわたしの人生があると思う	4.50	(0.65)
36	8L-1	わたしは母親を大事にしていきたいと思う	4.50	(0.66)
134	7S-7	わたしは母親ががんばっていると思う	4.47	(0.65)
28	7L-5	母親がわたしの親でよかったと思う	4.45	(0.75)
120	7L-1	どんな母親であっても、わたしの親にはかわりないと思う	4.41	(0.81)
40	7L-7	母親がいるからこそ今のわたしがあると思う	4.41	(0.76)
41	7L-2	わたしは母親が完璧でないことは仕方がないことだと思う	4.40	(0.70)
129	7S-9	わたしは母親に今までたくさんの迷惑をかけてきたと思う	4.39	(0.74)
92	7S-1	母親は母親、わたしはわたしだと思う	4.38	(0.71)
19	7S-3	母親とわたしは異なる一人の人間であると思う	4.35	(0.80)
8	2L-4	わたしは母親が好きだ	4.33	(0.81)
69	7L-6	わたしはこの母親の子どもでよかったと思う	4.30	(0.81)
136	8L-2	わたしは母親に楽をさせてあげたいと思う	4.30	(0.75)
163	7S-5	わたしの生き方は母親とは別の独自のものであると思う	4.27	(0.83)
15	8S-3	わたしの母親はえらいと思う	4.26	(0.88)
68	7L-8	わたしはこのような母親がいて幸せだと思う	4.24	(0.77)
133	6L-2	わたしは母親とずっとつきあっていこうと思う	4.23	(0.84)
48	2S-7	わたしは母親からいろいろなことを教わっている	4.23	(0.76)
78	8S-6	わたしは母親を信頼している	4.22	(0.82)
157	7S-8	わたしは母親に心配をかけたくないと思う	4.20	(0.76)
29	7S-6	わたしは母親が今まで苦勞してきたのだと思う	4.18	(0.89)
32	2S-8	わたしは母親からいろいろなことを学んでいる	4.17	(0.77)
154	8L-5	わたしは母親の力になりたいと思う	4.17	(0.78)
97	8S-1	わたしは母親を尊敬している	4.16	(0.86)
86	7S-4	わたしは母親も一人の人間だと思って接している	4.13	(0.81)
2	9S-8	わたしは母親と信頼関係にあると思う	4.12	(0.86)
70	4L-6	わたしは母親には話せないこともある	4.10	(0.89)
3	3S-6	いざという時には母親をたよりにする	4.08	(1.01)
13	2L-9	わたしは母親と話をすることが好きだ	4.08	(0.91)
63	7L-3	わたしは母親の欠点も含めて母親が好きだ	4.08	(0.85)
80	6L-8	わたしは母親の意見も聞いていきたいと思う	4.05	(0.77)
43	9S-5	わたしは母親が困っている時には助けようとする	4.00	(0.75)
160	2L-6	わたしは母親と仲がよい	3.99	(0.96)
137	8L-3	わたしは母親のことを心配している	3.95	(0.85)
52	6L-6	わたしは母親のことを理解したいと思う	3.94	(0.84)
110	8S-4	わたしは母親を立派な人であると思う	3.89	(0.93)
54	2L-8	わたしは母親とよく世間話をする	3.88	(1.04)
49	4L-9	わたしは母親に意見を押しつけられるのは嫌である	3.83	(1.00)
151	8S-5	わたしは母親を自慢に思う	3.83	(0.99)
88	8S-2	わたしは母親が人間としてすばらしいと思う	3.80	(0.91)
30	3S-5	わたしはわからないことを母親にたずねる	3.80	(1.04)
31	3S-4	わたしは母親にたのみごとをする	3.77	(0.96)
94	3L-5	母親にはわたしの気持ちをわかってもらいたいと思う	3.75	(0.93)
55	9S-2	わたしは母親からの頼みごとを引き受ける	3.71	(0.88)
79	2S-11	わたしは母親を見習いたいと思う	3.69	(0.97)
84	8S-7	わたしは母親の考えを大切にしていきたいと思う	3.69	(0.87)
33	6L-1	わたしは母親に言いたいことを言うようにしている	3.68	(1.01)
141	3L-7	母親はわたしの心の支えである	3.65	(0.99)
20	1L-2	わたしは母親といっしょにいると落ち着く	3.64	(0.94)
106	2L-5	わたしは母親と気が合う	3.60	(0.95)
38	2S-5	わたしは母親に失望されたくないと思う	3.60	(1.11)
44	9S-9	わたしは母親と人生について話し合うことがある	3.56	(1.17)

130	1L-1	わたしは母親がそばにいると安心する	3.56	(1.02)
91	6L-5	わたしは母親となるべく話をするようにしている	3.54	(0.96)
99	3L-8	わたしは何かする時には母親に励ましてもらいたいと思う	3.52	(1.08)
50	9L-8	わたしは母親を励ますことがある	3.51	(1.05)
57	3S-1	わたしは母親に助言を求める	3.49	(1.10)
18	9S-3	わたしは母親に助言することがある	3.47	(1.01)
47	6S-3	わたしは母親よりも人間として成長したいと思う	3.47	(1.04)
65	6S-5	わたしは母親よりも社会の中で活躍したいと思う	3.45	(1.13)
116	9S-1	わたしは母親の手伝いをする	3.45	(0.99)
111	4S-5	わたしは母親とけんかをするときがある	3.43	(1.16)
87	9S-7	わたしは母親と相談し合う	3.42	(1.08)
82	3S-7	自分で判断に迷った時は、母親の意見を参考にする	3.41	(1.06)
27	4S-6	わたしは母親と意見が衝突することがある	3.39	(1.08)
114	3S-8	わたしは困った時は母親にたよりたくなる	3.39	(1.10)
93	3L-4	わたしは母親がいるとがんばることができる	3.38	(0.98)
143	6L-7	わたしは母親とお互いのことを理解できるように努力している	3.38	(0.93)
152	4S-3	わたしは母親の考えを否定することがある	3.37	(0.98)
155	9L-3	わたしは母親のグチをよく聞く	3.32	(1.15)
148	6S-4	わたしは母親よりもいい親になりたいと思う	3.31	(1.02)
102	9L-2	わたしは母親の悩みごとをできるだけ聞くようにしている	3.31	(1.02)
4	9S-6	わたしは母親が直面している問題を解決しようとする	3.31	(1.01)
81	3L-1	わたしは困ったことがあると母親に相談する	3.30	(1.13)
51	6S-2	わたしは母親よりも立派な人間になりたいと思う	3.29	(1.06)
6	4L-11	わたしは母親に怒りをぶつけることがある	3.28	(1.17)
118	4L-13	わたしは母親に反抗的な態度を取ることがある	3.28	(1.07)
73	9L-1	わたしは母親の相談に乗る	3.26	(1.12)
34	9L-9	わたしは母親が安心して生活できるようにしている	3.25	(1.01)
158	1L-6	わたしは必要なことはすべて母親に話す	3.23	(1.18)
105	2S-4	わたしは母親の期待にこたえようとしている	3.22	(1.04)
162	7L-4	わたしは母親にこれ以上望むことはない	3.22	(1.05)
103	1S-2	わたしは母親から言われたことを守るようにしている	3.21	(0.93)
64	4S-2	わたしは母親の欠点を直してほしいと思う	3.21	(1.03)
39	9S-4	わたしは母親の力になっていると思う	3.18	(0.90)
21	2S-2	わたしは母親にとってのいい子でいたいと思う	3.18	(1.10)
77	3L-6	わたしは母親に悩みごとを話す	3.13	(1.14)
108	2L-7	わたしは母親にその日の出来事をよく話す	3.11	(1.31)
107	2S-9	わたしは母親のようになりたいと思う	3.04	(0.98)
95	6L-4	わたしは母親にもっと積極的にかかわろうとしている	3.04	(0.93)
26	6S-6	わたしは母親よりも幸せになりたいと思う	3.03	(1.13)
85	6S-1	わたしは母親には負けたくないと思う	3.03	(1.20)
122	2L-1	わたしは母親といっしょに外出することが多い	3.00	(1.18)
153	4S-7	わたしは母親が望む通りの人生は送りたいくないと思う	2.98	(0.92)
62	9L-7	わたしは母親を精神的に支えている	2.98	(0.96)
123	2L-12	わたしは母親と友だちのように仲良しである	2.96	(1.17)
16	3L-3	わたしは嫌なことがあった時には母親に話す	2.96	(1.22)
113	9L-4	わたしは母親をなだめることがある	2.95	(1.09)
72	3L-2	わたしは気分が落ちこんだ時には母親に話をする	2.92	(1.20)
5	2S-3	わたしは母親に気をつかって接している	2.86	(1.13)
132	8L-10	わたしは母親のことをかわいいと思う	2.85	(1.22)
101	2S-12	わたしは母親のような生き方がしたいと思う	2.81	(0.92)
1	4L-2	わたしは母親から離れていたいと思う	2.80	(1.13)
89	2L-2	わたしは母親とよく行動を共にする	2.80	(1.10)
142	4L-5	母親にはわたしの部屋に入ってほしくないと思う	2.80	(1.29)
66	2L-10	わたしは母親と友だちのようなつきあい方をしている	2.80	(1.15)
125	1S-3	わたしは母親の注意を必ず聞くようにしている	2.78	(1.00)
58	1L-7	わたしは母親には何でも話をする	2.74	(1.16)
45	2S-10	わたしは母親を目標としている	2.71	(1.13)

112	1S-5	わたしは母親の言うことには素直に従っている	2.70	(0.97)
90	2S-6	わたしは母親が望むような生き方をしたいと思う	2.70	(1.00)
37	2S-1	わたしは母親の機嫌をうかがうことが多い	2.67	(1.18)
14	4L-10	わたしは母親に反発したくなる	2.66	(1.08)
75	5S-2	わたしは母親を馬鹿にしたような態度をとることがある	2.64	(1.19)
76	4L-7	母親に対してわたしのことを打ち明けて話す気になれない	2.63	(1.09)
150	2L-3	わたしは母親といっしょに遊びに行くことが多い	2.61	(1.17)
71	1L-3	わたしは母親にできるだけいっしょにいてほしいと思う	2.61	(1.06)
128	4L-12	わたしは母親に対していら立ちを感じる	2.55	(1.09)
117	2L-11	わたしは母親を友だちのような存在だと思っている	2.54	(1.19)
53	8L-8	わたしは母親がかわいそうであると思う	2.53	(1.20)
126	4S-1	わたしは母親にもっとしっかりしてほしいと思う	2.53	(1.14)
104	6L-3	わたしは母親のことを好きになろうと努力している	2.50	(1.04)
147	1L-8	わたしは嫌なことがあったら母親にまっさきに話す	2.44	(1.05)
9	1L-4	わたしは母親がそばにいないときびしい	2.44	(1.03)
46	5S-1	わたしは母親のようになりたくない	2.37	(1.12)
25	3S-3	わたしは母親におこづかいをねだる	2.35	(1.22)
61	1S-1	わたしは母親の考えに従おうとしている	2.35	(0.98)
74	4L-4	わたしは母親がうっとりしていると思う	2.34	(1.08)
60	4S-11	母親にはわたしの持ち物に触ってほしくないと思う	2.33	(1.23)
135	4S-4	わたしは母親が自分勝手であると思う	2.32	(1.11)
96	5S-4	わたしは母親のような生き方はしたくない	2.25	(1.06)
42	1L-9	わたしは母親にかくしごとをしない	2.23	(1.00)
11	4S-8	わたしは母親の言うことにいつも対立する	2.23	(0.86)
156	9L-5	わたしは母親の面倒をみている	2.22	(0.90)
7	4L-3	わたしは母親とできるだけいっしょにいたくない	2.22	(1.00)
119	1L-10	わたしは母親に秘密がないようにしたいと思う	2.21	(0.97)
115	5S-5	わたしは母親には期待しても無駄だと思う	2.21	(1.00)
131	1S-6	わたしは母親の言うことを聞いていれば間違いないと思う	2.16	(0.94)
124	1S-4	わたしは母親の言う通りに生きている	2.12	(0.90)
22	5L-5	わたしは母親に対して絶対に許せないと思っていることがある	2.11	(1.09)
149	8L-9	わたしは母親がみじめに思えることがある	2.11	(1.07)
24	1S-7	わたしは母親に逆らうことができない	2.09	(1.07)
10	1L-5	わたしはできることならいつも母親といっしょにいたい	2.09	(0.95)
35	5S-9	わたしは母親に似ていると言われることが嫌だ	2.08	(0.97)
56	9L-6	わたしは母親の世話をしている	2.02	(0.92)
109	5S-8	わたしは母親に似ているところがあるのが嫌だ	2.00	(0.98)
144	5S-7	わたしの母親はたよりにならないと思う	1.92	(0.88)
140	5S-3	わたしは母親の考え方に幻滅している	1.80	(0.92)
17	5L-3	わたしは他の人が母親だったらよかったと思うことがある	1.74	(1.03)
83	5L-4	わたしは母親がいなければいいと思うことがある	1.74	(0.94)
139	4S-9	わたしは母親を信用していない	1.71	(0.85)
67	5L-1	どうしてこの人がわたしの母親なのかと思う	1.71	(0.94)
100	4S-10	わたしは母親を尊敬できない人間であると思う	1.64	(0.86)
161	4L-1	わたしは母親を避けている	1.62	(0.89)
145	5S-6	わたしは母親に失望している	1.55	(0.81)
23	5L-6	わたしは母親なんてどうでもいいと思っている	1.50	(0.72)
159	5L-2	わたしは母親を自分の親とは思わないことがある	1.48	(0.80)
59	4L-8	わたしは母親のことが嫌いだ	1.46	(0.84)
146	5L-7	わたしは母親を無視している	1.35	(0.69)

注1：項目番号につけられている数字とアルファベットは、Talbe 2の各カテゴリーに対応している。

注2：「子の母親とのかかわり方」の認知を尋ねる項目の平均得点が大きい順に並べた。

注3：得点範囲は、「全くあてはまらない（1点）」から「非常にあてはまる（5点）」までである。